

トリーディングママがゆく④ 女性のがん検診

横浜市会議員 伏見ゆきえ

平成26年度決算特別委員会、局別審査にて健康福祉局に質問しました。

横浜市では職場の検診な

ど他に受診機会のない方で、以下の年齢要件等を満たす方は――

◆胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診▽40歳以上の

市民を対象に年度に1回

◆前立腺がん検診（PSA検査）▽50歳以上の男性市民を対象に年度に1回

◆子宮がん検診▽20歳以上の女性市民を対象に2年度に1回（前年度に受診していない方が対象）

◆乳がん検診▽40歳以上の

女性市民を対象に2年度に1回（前年度に受診していない方が対象）

――となつていますが、

受診率はあまりよくありません。また、男性に比べ女性は職域でのがん検診の受診機会が少ない状況です。

受診者の負担減を

横浜市の子宮がん検診の受診率は23・5%、乳がんは18・2%です。女性特有のがん検診のうち、乳がん検診の実施方法の変更に ついて厚生労働省で議論されています。視触診とマンモグラフィ併用だった検診をマンモグラフィ中心にする

ことや、超音波装置による乳がん検診の実施にする等です。超音波装置による

診は、マンモグラフィのよ うな圧迫による痛みを伴わないメリットがあります。

医療技術は進歩しており、受診率向上のためにもこれまでとは違う、新たな取組みが必要です。がんから自分を守るため、自己診断用のグローブによる定期的な自己触診の大切さを伝える啓発の実施や血液検査など受診者の身体的負担が少ない方法の検討など、またこれらを身近な市役所や区役所で受診ができる環境づくりが必要と考えます。

今回は、こうした質問をさせていただきました。

横浜市でも、直ぐにはいかないと思いますが、前向きに取り組んでもらえるように働きかけていきます。



自民党戸塚区連合支部女性局長次長

伏見ゆきえ

1968年2月24日、川崎で誕生。2歳で横浜へ私立橋女子高等学校卒業、歯科医院に勤務、東京中央ヤクルト販売(株)ヤクルトレディーに、歯科医院に勤務、2015年横浜市会議員初当選

-----連絡事務所-----

戸塚区上倉田町389の102

☎045・443・5757 ☎045・443・5671

<http://fushimiyukie.com/>